

育×新治地区

～まち全体で農業を育む～

新治の農業は、個人経営が主流である。しかし、その多くの農家は経営が成り立っていない。そこで、以下の提案では、集落営農の形成・発展を目指す。

提案 意欲的な若手農家に集落営農のリーダーになってもらう

集落営農の形成までに必要不可欠なことが、各農家間の合意形成である。この高いハードルを若手農家の意欲で超えてもらう。

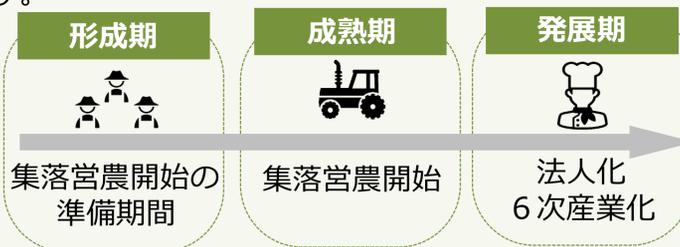
集落営農を行うことによる効果は以下の通りである。

- 農機を共同利用することで生産コストが削減できる
- 集落で農地を管理するという意識が放棄地の増加防止につながる
- 研修など技術の伝承を手厚く行えるので後継者の育成ができる

提案 リバーサイド土浦に農家カフェを開設

集落営農の基盤が整ったら、法人化を行い、六次産業化を目指す。

農家カフェでは、法人の農家で収穫した野菜を使った料理を提供し、また地域の女性を雇用する。それにより、女性から支持される店舗とすることで、女性を中心に、まち全体で農業を支える仕組みを作っていく。



育むまち 土浦

～ひとがまちを、まちがひとを育む～

都市計画マスタープラン策定実習 平成29年度8班

TA: 佐藤慧一 班長: 藤田修平
加古捺巳 斜森優輝 連沼舜矢
麓国広 山本翔太

提案 保育中継所を設置

@土浦駅・荒川沖駅周辺のスーパーマーケット



共働きの両親は、通勤途中に子どもを保育中継所に預け、出勤する。子どもたちは、バスで保育中継所と保育園を往復する。両親にとって、出社・退社の好きなタイミングで送迎ができるというメリットがある。



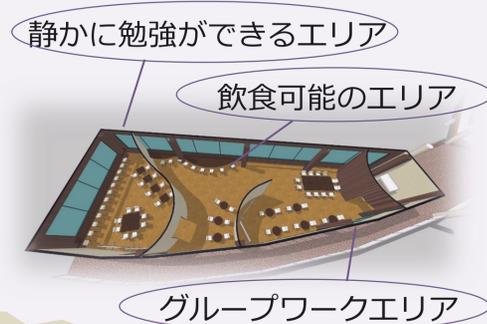
育×中央地区

～学生主体の地域交流がまちを育む～

土浦市には、周辺市町村よりも多くの高校が立地している。高校生を主役とした中心市街地の活性化を目指すために、**Gather** という施設の立ち上げを提案する。**Gather** はモール505の空き店舗を利用し、以下の機能を設ける。

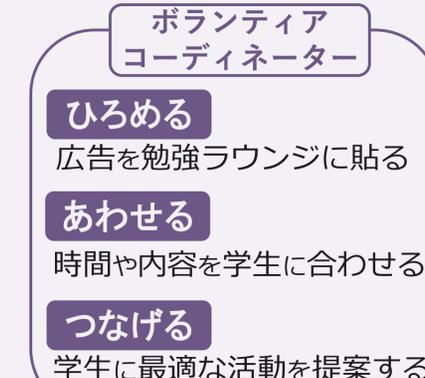
学生を集める 勉強ラウンジの設置

高校生が日常的に集える場を創る。



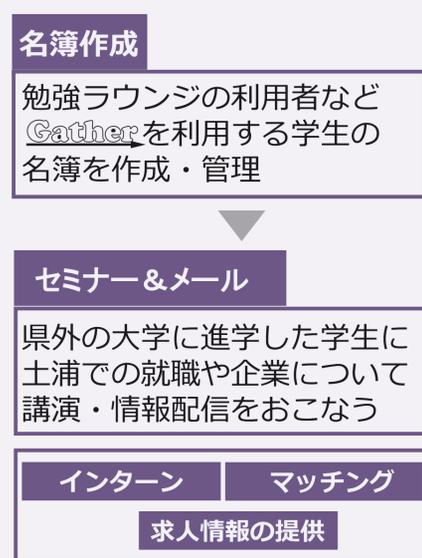
学生×地域 地域貢献活動支援

学生の地域活動への参加を促す。



学生×企業 企業と学生への就業支援

地元企業との接点を増やす。



地域団体 ↔ 学生

育×南部地区

～子育てにやさしいまちを育む～

育×水辺空間

～水資源を生かし健康と景観を育む～

提案 桜川から霞ヶ浦にかけて連続的な遊歩道を整備



桜川沿いに、デッキとランニングコースを整備し、市民が利用しやすい環境をつくる。市民にウォーキングなどの運動をうながし、健康づくりの場とする。



提案 市民が集える憩いの場“リバーサイド土浦”

平成21年に閉園した土浦ビオパークの跡地に建設をする。リバーサイド土浦には、桜川沿いを歩いて下ってきた市民が集える広場や農家カフェ、疲れを癒す足湯を備える。

